





審査結果報告書

2020年 / 月 27日

主査	氏名	佐藤之俊	
副査	氏名	塚隆一	
副査	氏名	阪口しず子	
副査	氏名	山下 拓	

1. 申請者氏名 : DM16022 中脇 充章

2. 論文テーマ :

マウスにおける椎間板損傷後の神経成長因子発現とマクロファージ表現型の変化

3. 論文審査結果 :

腰痛の生涯罹患率は85%と報告されており、男性女性ともに多い愁訴である。治療上問題となる慢性腰痛の多くは非特異的腰痛であり、既存の薬物治療には抵抗性である。申請者は非特異的腰痛の原因として椎間板由来疼痛に着眼し、マウス椎間板傷害モデルを用いて神経成長因子NGFの発現とマクロファージによるNGF制御機構の検討を行った。その結果、NGFは椎間板傷害後持続的に上昇することを示した。また、急性期にはM1マクロファージが産生するTNF- α 、慢性期にはM2マクロファージが産生するTGF- β がNGFの発現を制御している可能性を示した。本機構は慢性腰痛発生メカニズムの一端を解明した研究であり、慢性腰痛治療に有益な情報になると考えられ、本研究は医学博士の学位授与に値する研究であると認めた。